



北海道大学 医学部長
はたけやま しげつぐ
畠山 鎮次

北海道大学医学部は、北海道帝国大学創設の翌年の1919年に北海道帝国大学医学部として創立され、2019年には創立百周年を迎えた日本のなかでも有数の歴史と伝統を誇る医学部です。これまでに1万名ほどの卒業生が巣立ち、医療や医学研究の分野で活躍する数多くの人材を輩出しております。北海道大学医学部医学科としましては、「広範な医学知識、高い倫理観、豊かな人間性、国際的視野を備え、医学の進歩と医療の実践・発展に寄与する医師・医学研究者を養成すること」を、教育目標として掲げております。この目的のもとで育つ人材は、まず幅広い基本的な医学知識そして専門知識を有すること、そして深い思考力と批判力、応用力、創造力、さらには国際的対応能力を身につけることが要求されます。すなわち、国内の医療貢献のみならず、グローバルな視野および献身的精神を有する人材として活躍することが求められております。

北海道大学では、医学教育のみならず、リベラルアーツも学習できる教育環境が、開設以来、大学として整備されております。現在はコロナ禍ではありますが、教育の実践を維持するためにハード面・ソフト面でさまざまな工夫を凝らすことで対応を進めており、ウィズコロナおよびアフターコロナに長期的に対応できる教育システムの構築が重要と考えております。医学科では近年、学習プログラムを見直し、診療参加

型臨床実習を強化しております。診療参加型臨床実習において、実際の医療現場で必須となる診療チームの一員として診療業務の義務や責任を理解し、医師として必要な専門的な知識、診断力、医療的技術を学びます。また近年、アジアやヨーロッパ諸国から外国人留学生（特別聴講学生）を多く受け入れており、本学の学生に対して身近に留学生とともに学ぶ教育環境を提供し、語学や国際感覚を身につけられるよう、医学教育国際交流推進センターなどの環境整備に取り組んでおります。

北海道大学は、世界でも珍しい雪の降る200万都市である札幌市の中心に位置し、かつ日本でも貴重な自然に恵まれた広大で静かなキャンパスを構えています。皆さんが、恵まれたこの環境で勉学に励み、将来の宝となる友人、先輩、後輩そして師と出会い、医学・医療の進歩に貢献する創造性豊かな高い倫理観を有した医師・医学研究者になることを心から願っております。北海道大学医学部医学科は、医の学びを通して自己の成長を成し遂げ、自己で設定した高遠な目標と理想をもった学生諸君を歓迎いたします。

CONTENTS

001	医学部長からのメッセージ 畠山 鎮次
003-004	コースマップ
005-006	医学教養コース
007-008	基礎医学コース
009-010	臨床医学コース
011-012	臨床実習コース
013	海外実習
014	キャンパスガイド (施設案内)
015-016	医学科イベントカレンダー クラブ・サークル活動
017-018	卒業後の進路
019-020	大学院特別プログラム ■ MD-PhDコース ■ CLARCプログラム
021-022	インフォメーション